



富士通クラウドとの協業

株式会社蒼空（あおぞら）
代表取締役 林 健一郎

株式会社 蒼空 会社概要

設立 2009年12月
所在地 東京都新宿区

事業内容

各種ビジネス／IoTアプリケーション開発
各種モバイルアプリケーション企画開発
デジタルコンテンツ企画制作
デザイン
(グラフィック、Webサイト、UI・UX、ムービー)



代表製品

MeetingForce

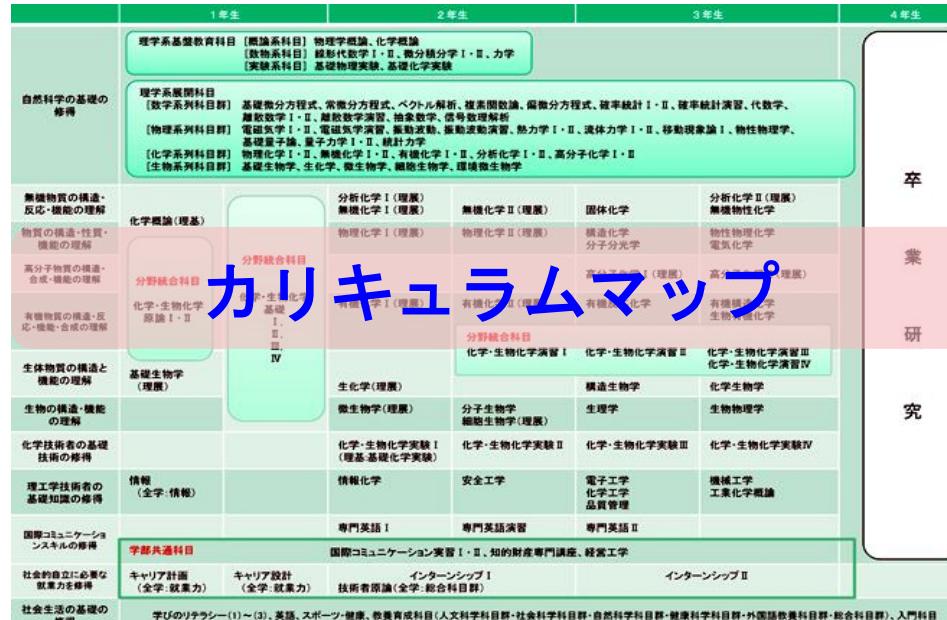
PDFやJPEGなどの既存のファイルに手軽にメモができるそれを複数の端末でリアルタイムに同期共有できる、コミュニケーションサポートアプリです。
MeetingForce-GPはストレージにGIGAPODを使ったトライポッドワークス社との協業製品です。



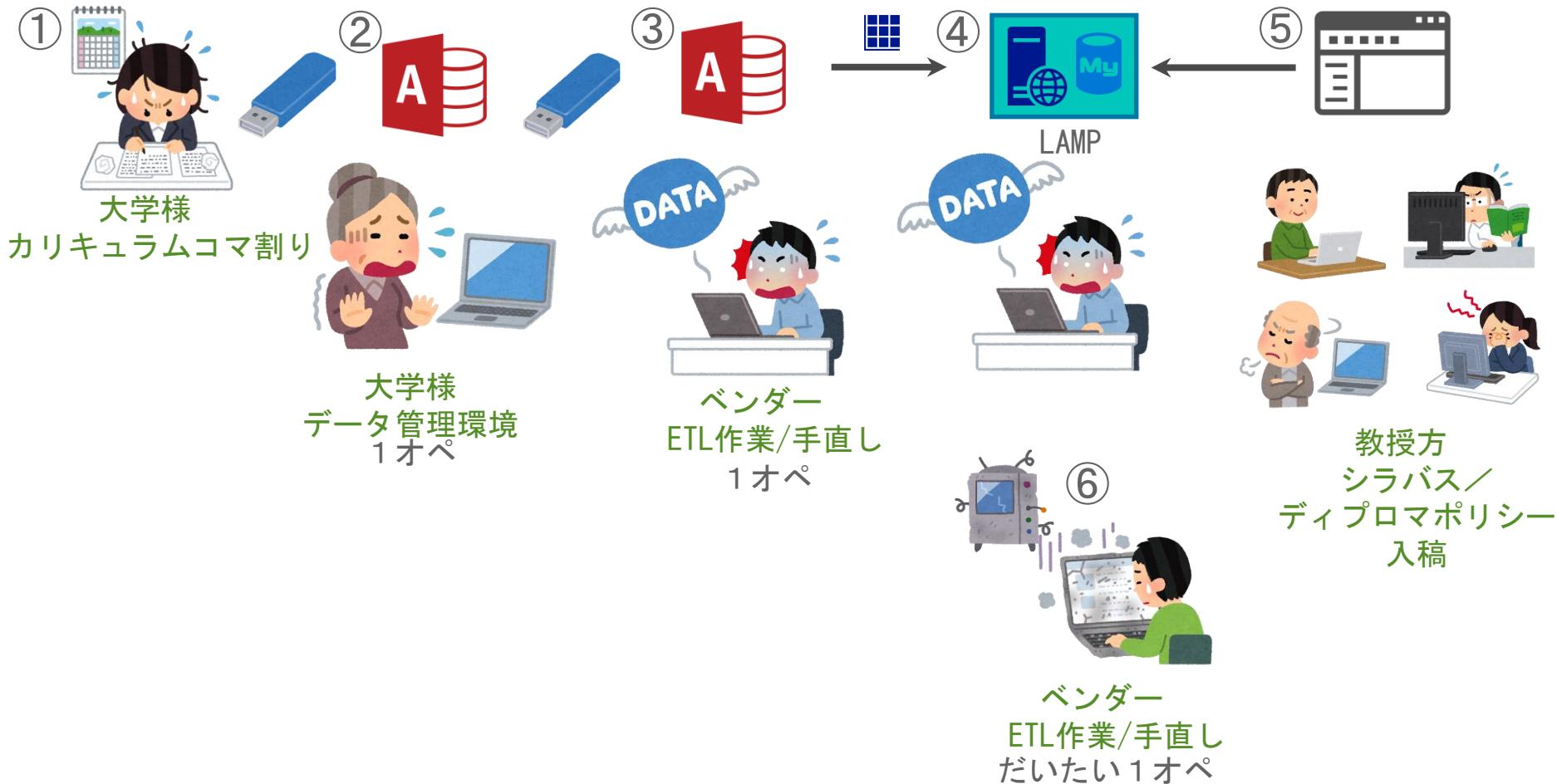
お客様のご要望

シラバスシステムのWeb化とカリキュラムマップの生成

シラバス (Syllabus)	講義などの内容や進め方を示す計画書。
科目ナンバリング	教育課程の体系が容易に理解できるように、科目間の連携や科目内容の難易を表す番号をつけ、教育課程の構造を分かりやすく明示する仕組み。教育の国際通用性を高める取組。



現状 (システムになっている風)



現行運用環境の不具合／課題点

- 運用作業がローカル環境である（古いPC 1台）
- 環境構成上、作業は1人で行う必要がある
- ETL作業プロセスが多く猥雑になり易い
- 処理中のデータについてユーザー様と共有し難い
- システム導入から15年、経年劣化している
- 現在AccessはWebで共有出来ない（無理矢理になる）

1段階の狙い (ITシステムにする)

システム基盤をクラウドにおいて
シンドイETL作業を複数人で出来る基礎を作る



大学様
カリキュラムコマ割り



大学様
データ管理環境
1オペ



ベンダー
ETL作業
複数名オペ



LAMP

ベンダー
ETL作業/手直し
だいたい1オペ



教授方
シラバス/
ディプロマポリシー
入稿

富士通クラウドへの好感点

- 日本製であること
- データの所有権がユーザーにあること
- 手厚い支援を頂けること

本件での富士通クラウド利用上課題点と懸念点

- Azure (Office365) だけで構築出来ちゃう
- 協業ビジネスモデルの確立

本件を富士通クラウドで進めるための方針

■ Accessのご利用をやめて頂き対案をだす

■ MySQLからPostgreSQLに変更

【重要課題】 Accessデータの正常な移行

→弊社製品のTransitForce(トランジットフォース)で解決?

トランジットフォース:

弊社製品のデータ移行作業サポートツールです。

移行元データを確実に移行できる検証/データ修正を行います。

また、エラーをわかりやすく分類するレポートが作成されます。



TransitForce

ご清聴ありがとうございました